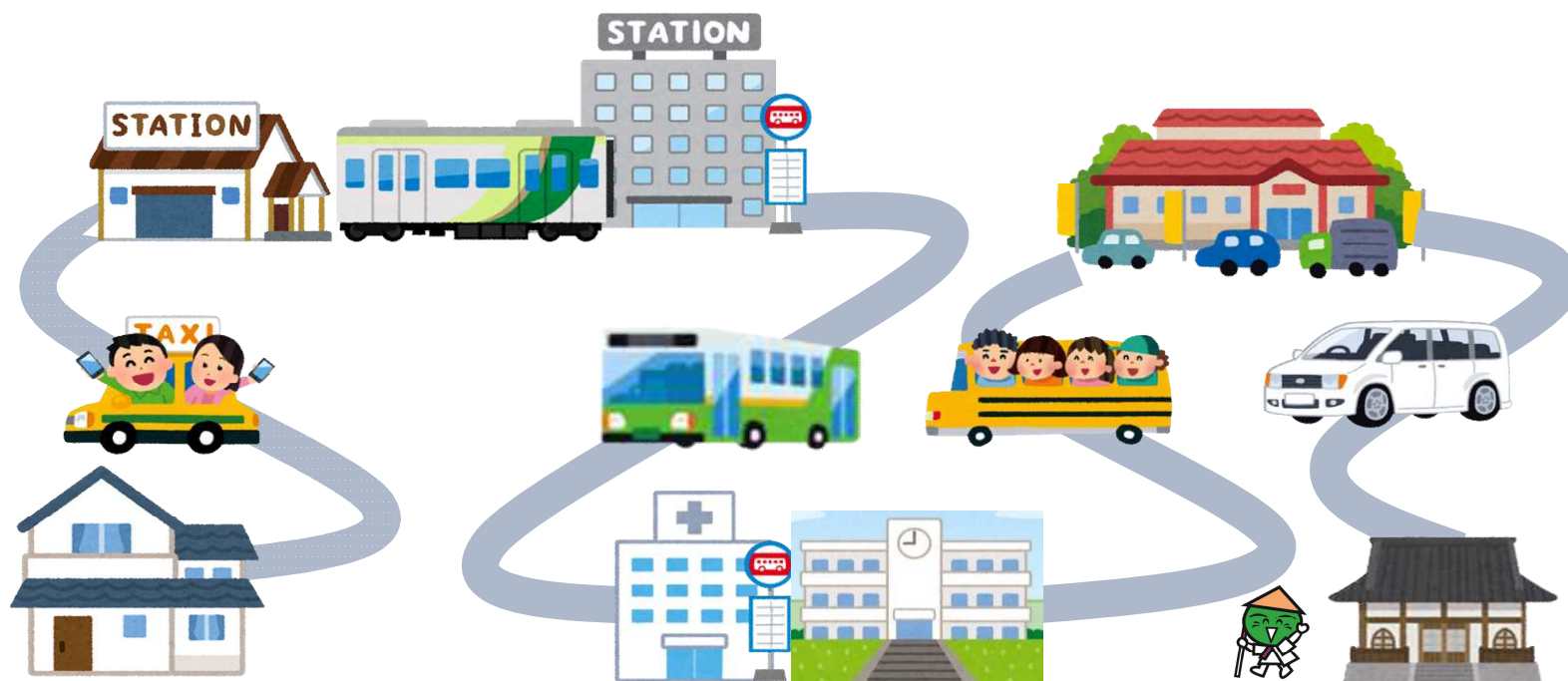


次世代地域公共交通ビジョンに基づく取組み

「人をつなぐ」「地域をつなぐ」「未来へつなぐ」
徳島ならではの地域公共交通ネットワークの実現を目指して



令和4年7月12日

次世代地域公共交通ビジョン推進委員会

Ⅰ 次世代地域公共交通ビジョンの概要

ビジョン策定の経緯

- ◎バスや鉄道など県内の**公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況**
 - ・モータリゼーションの進展
 - ・人口減少による利用者の減少
 - ・施設の老朽化
 - ・運転手不足の深刻化
- ◎**公共交通の重要性は年々高まっている**
 - ・運転免許返納後の高齢者、学生など自動車を運転できない方々の移動手段の確保
 - ・訪日外国人旅行者などの二次交通手段

徳島県生活交通協議会ワーキング部会で検討

- ◎徳島ならではの「革新的な公共交通ネットワーク」の構築
 - ・多様な担い手によるモーダルミックスを中心
 - ・まちづくりと連携した公共交通ネットワーク形成
 - ・利用者の増加につながる好循環を生み出す

未来に向けた「**地域公共交通の羅針盤**」として「**次世代地域公共交通ビジョン**」を策定

I 次世代地域公共交通ビジョンの概要

ビジョンの位置づけ

(1) 実施期間

令和元年度を初年度とし、**概ね10年程度**

※取組状況について、毎年継続的に検証を実施

(2) 地域公共交通網形成計画との関係

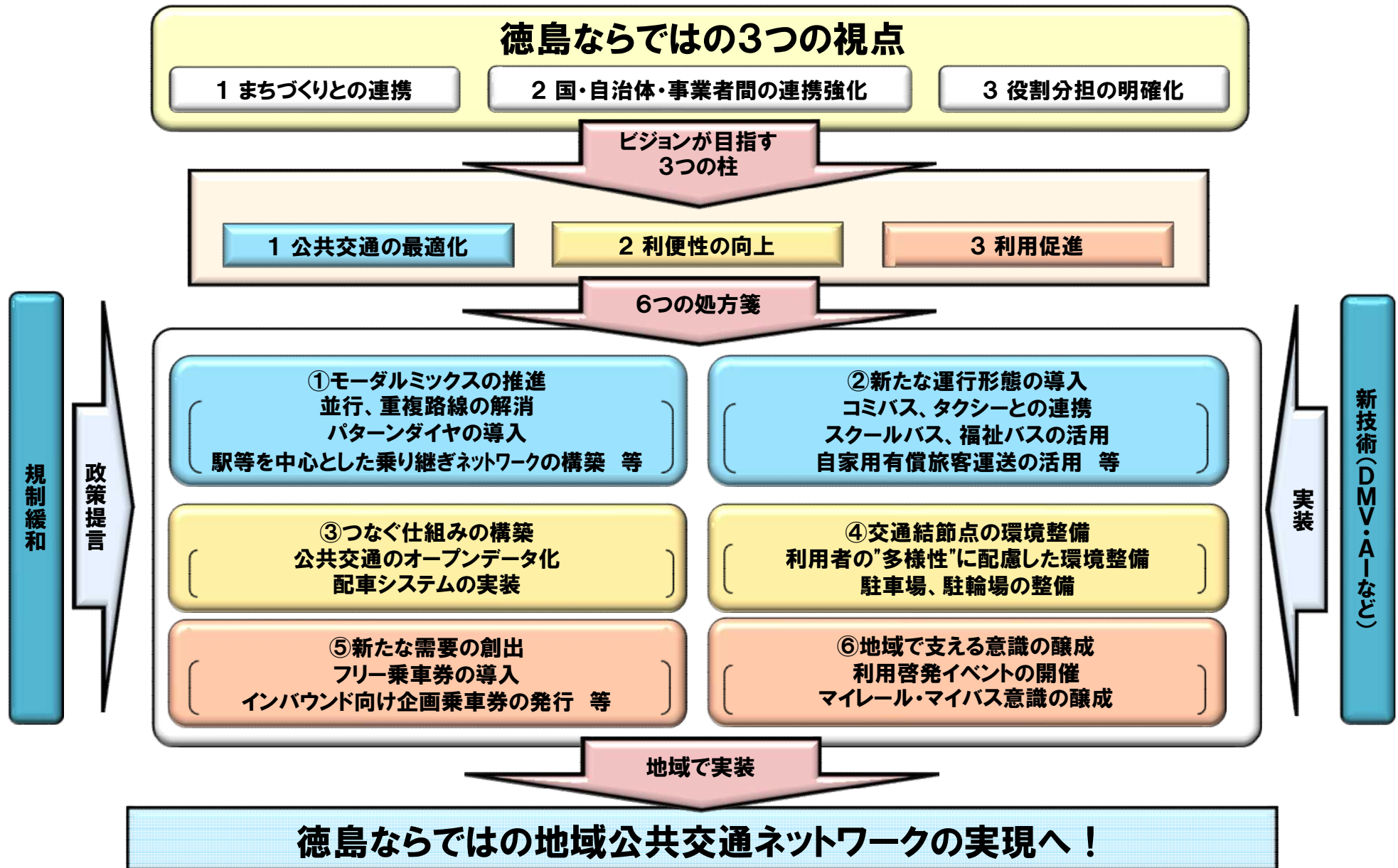
これまでの取組や市町村が作成した「地域公共交通網形成計画」を活かしつつ、今後作成する網計画をはじめ、地域公共交通に関係する計画のよりどころとなる**基本的な方向性を定めるもの**

(3) 他の計画との連携

県民や旅行者などの移動ニーズに応じた公共交通の維持・充実が図られるよう、まちづくりの視点や高齢者の移動支援など他の分野との連携を図りながら、総合的かつ計画的に講ずるべき方針を定めるもの

次世代地域公共交通ビジョンの概要

ビジョンの骨子



次世代地域公共交通ビジョンの概要

ビジョンに定める乗継拠点



県内における拠点駅

(鉄道とバスの乗り継ぎ拠点)

高德線: 徳島駅、勝瑞駅、板野駅

鳴門線: 鳴門駅

徳島線: 石井駅、鴨島駅、阿波山川駅、
穴吹駅、貞光駅、阿波加茂駅

土讃線: 阿波池田駅、大歩危駅

牟岐線: 南小松島駅、羽ノ浦駅、阿南駅、
桑野駅、日和佐駅、牟岐駅、
阿波海南駅



拠点となるバス停

(バスとバスの乗り継ぎ拠点)

県東部: 徳島駅前、鳴門駅前、南小松島駅前、
徳島とくとくターミナル、
フジグラン北島、ゆめタウン徳島、
フジグラン石井、道の駅いたの

県南部: 阿南医療センター前、牟岐駅前

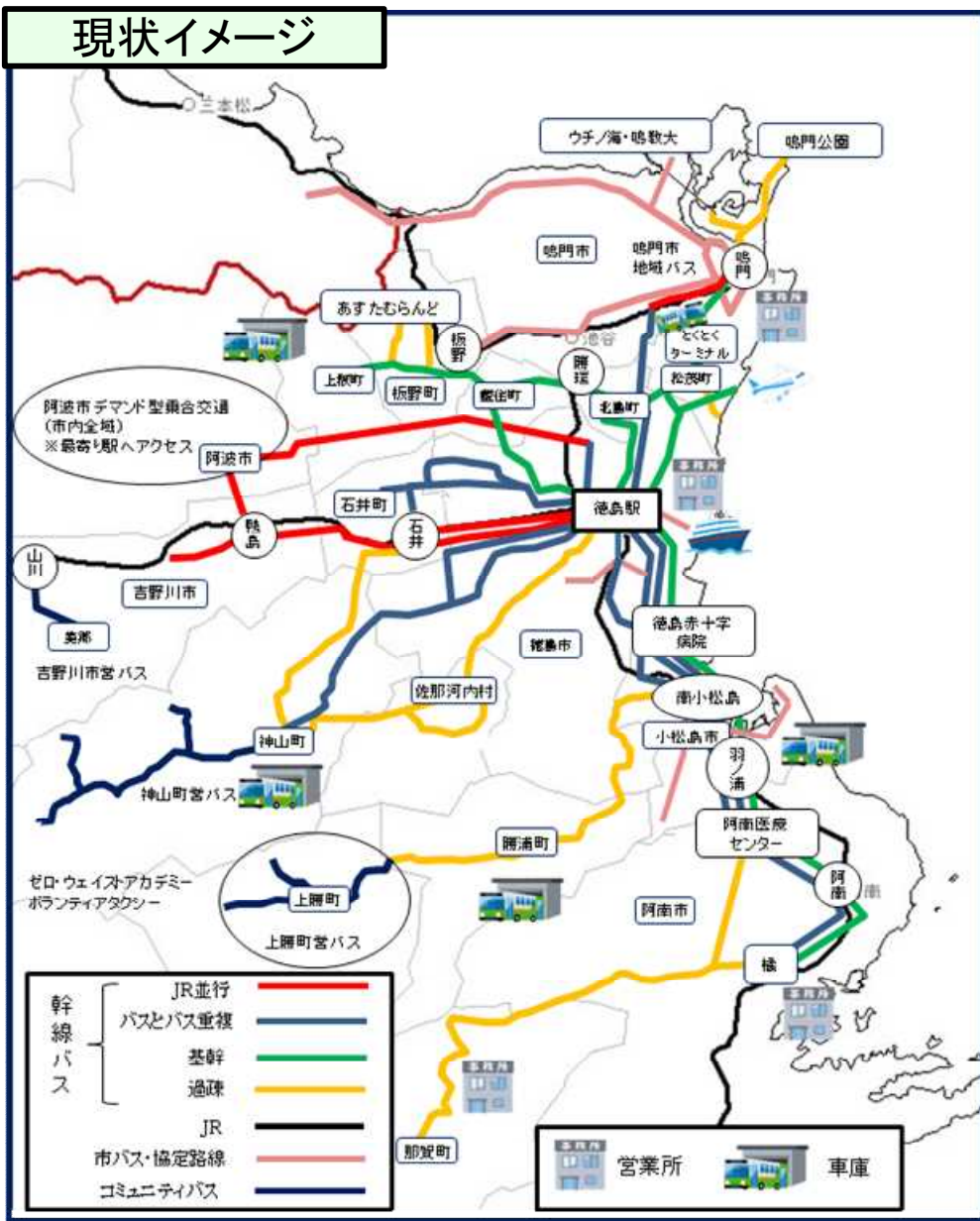
県西部: 阿波池田バスターミナル、大歩危駅



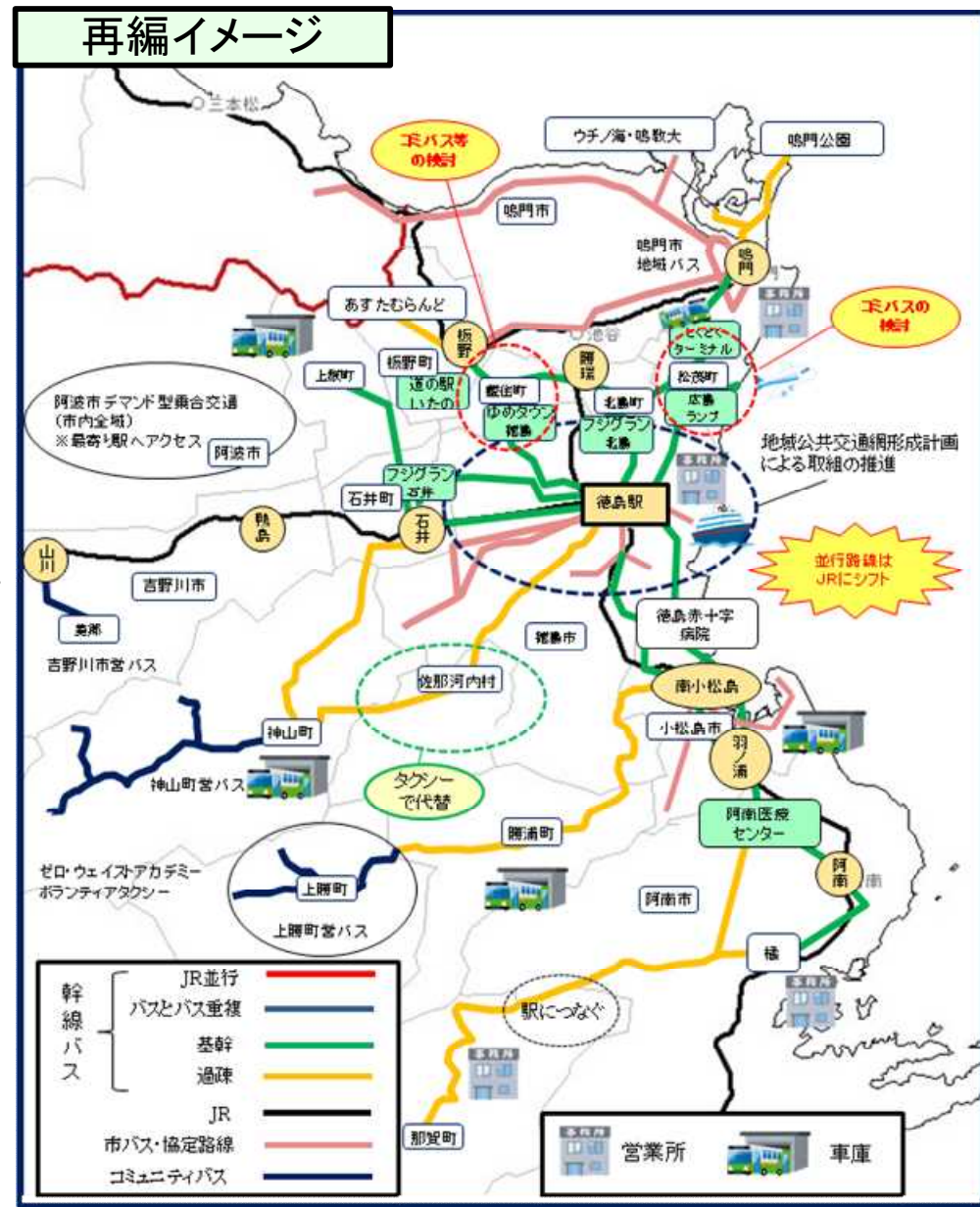
次世代地域公共交通ビジョンの概要

ビジョンに基づく再編イメージ(県東部) ※抜粋

現状イメージ



再編イメージ



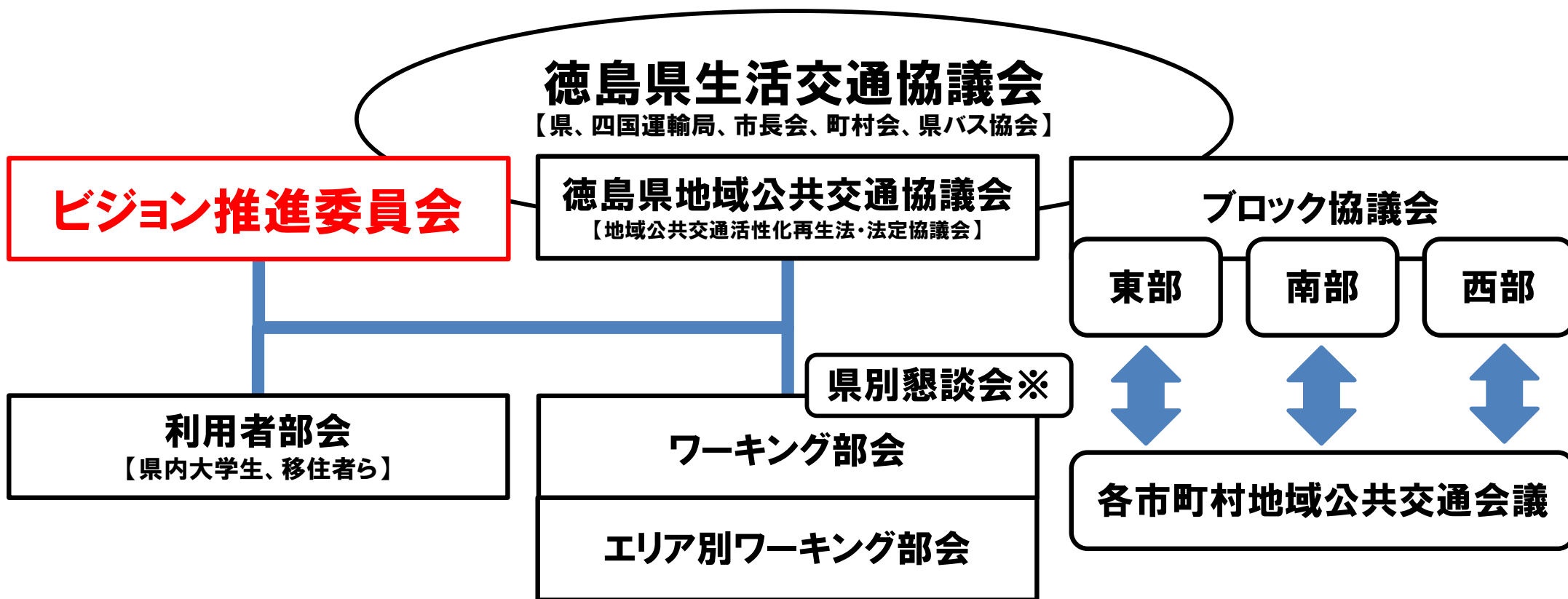
II 次世代地域公共交通ビジョン推進委員会

推進委員会の位置づけ

目的:ビジョンに基づく取組み状況の検証と施策ブラッシュアップ

⇒ 意見を生活交通協議会へフィードバック

翌年度以降の施策を検討



※「四国における鉄道ネットワークのあり方に関する懇談会II」における県別懇談会

II 次世代地域公共交通ビジョン推進委員会

利用者部会

日時:令和4年6月30日 参加者:徳島大学生10名(県内2名、県外8名)

主な意見

- 生活圏が狭く、普段は自転車。公共交通は帰省や旅行で利用。
- 食事など友達とちょっと出かけるときは、カーシェアが便利なので活用している。
- **バスは不便なイメージ**がある。(**路線や時刻がわかりづらく調べるのも面倒、小銭の心配、両替に抵抗感、乗り方が地域で異なる、乗換えがわかりづらい、特に雨の日は時間通りに来ないので時間が読めない**)
- **「いまどこなん」にアクセスするのが面倒**。地域に特化したアプリは利用しづらい。
- **地形図ベースで幹線と枝線が区別できる路線図を作成してほしい**。
オークランド(ニュージーランド)の路線図は、大変見やすく利用に抵抗がなかった。
- **キャッシュレスを導入してほしい**。(ICカードが使えないことに驚いた)
- **雨の日専用ダイヤ(増便)ができないか**。
- バスもJRの6枚回数券のような**区間運賃の回数券**をつかってほしい。
- 車との共存(**駅駐車場の割引、カーシェアやレンタサイクル設備等**)
- **公共交通を中心とした都市計画**であっていいと思う。車中心に感じる。
- 車社会の徳島では、**思い切った施策**が必要。(バス専用レーンなど)
- 地域の人が公共交通の重要性を認識し、**危機感を共有**できたらいいと思う。

II 次世代地域公共交通ビジョン推進委員会

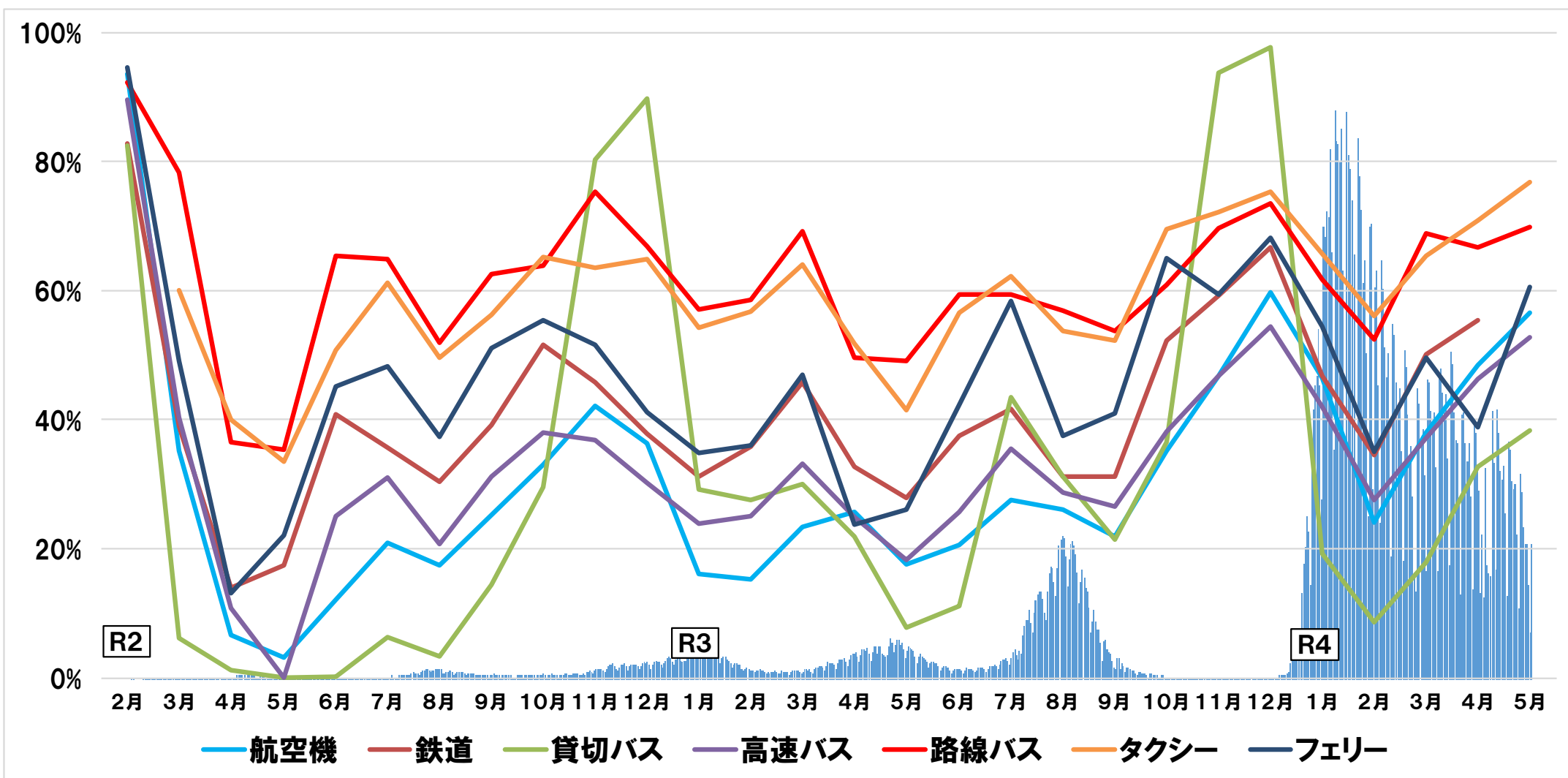
前回会議(R3. 9. 3)の主な意見

- 貸切バスへの支援**は、コロナ禍で運転手の技能等を維持する上で大変有意義。
⇒ **フェーズに応じた交通事業者への支援**[p11]
- ネット上に出ないと客は来ないし、利用も進まない。
デジタル上の露出を高める取組を進めるべき。
⇒ **公共交通NWのオープンデータ化**[p21]、**交通結節点の環境整備**[p25]
- ICカードや乗継運賃など、**使う時のサービスのブラッシュアップ**が大事。
サービスが共通化できれば、アナログでもMaaSは可能だと思う。
⇒ **鉄道とバスの共同経営**[p17]、**新たなキャッシュレスシステム**[p22]
- これだけ便利になっていることを、公共交通を**使わない人に知ってもらうこと**。
⇒ **地域で支える意識の醸成**[p27]
- 今後も利用している人の**意見を聞きながら進めてもらいたい**。
⇒ **利用者部会**[P8]、**モーダルミックスの推進**(川内循環線、松茂町営バス)[p14]

III ビジョンに基づく取組み

公共交通の利用状況(令和元年比)

徳島県次世代交通課調べ



※棒グラフは、新型コロナの感染状況(イメージ)として、厚生労働省がまとめた1日の新規陽性者数をグラフ化してプロットしたもの

III ビジョンに基づく取組み

新型コロナ対応での大型補正予算編成

臨時交付金を活用
約36億円

公共交通応援事業〔R2年6月補正予算〕

1,000百万円

- ◆事業者が取り組む**感染防止**や**3密回避**に資する取組みを支援
- ◆回復期の需要喚起に備えた**先行投資**による**利用環境整備**を支援
- ◆新しい生活様式にマッチする**利便性向上**や**利用促進**、**収益アップ**につながる取組みを支援

公共交通利用促進事業〔R2年9月補正予算〕

200百万円

- ◆公共交通の需要を喚起する「**とくしまプレミアム交通券(第1弾)**」の発行
- ◆「WITHコロナ」のスマートで便利な移動手段を創出する「**貸切バススマート利用応援事業**」

公共交通利用回復支援事業〔R3年1月補正予算〕

600百万円

- ◆県民の公共交通利用への**不安感を払拭**するための取組みを支援
- ◆需要回復を図るための**利用促進**や**情報発信**、**新規利用者獲得**の取組みを支援
- ◆「**とくしまプレミアム交通券(第2弾、第3弾)**」の発行 等

公共交通スマート利用応援事業〔R3年9月補正予算〕

550百万円

- ◆**県民に身近な鉄道やバス**が行う「**スマートライフ宣言**」の取組みを支援
- ◆アフターコロナを見据え、**DXによる利用促進**、**生産性向上**や**新たなサービスの提供**に繋がる取組みを支援

公共交通グリーンチャレンジ事業〔R4年2月補正予算〕

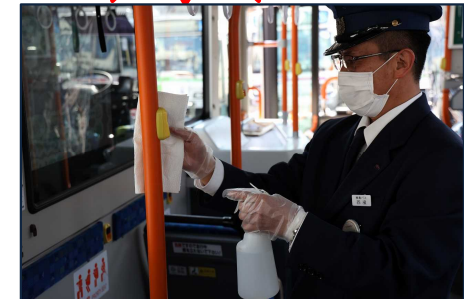
888百万円

- ◆公共交通の**安全安心な運行**等の推進
- ◆「**2050年カーボンニュートラルの実現**」に向け、**陸上輸送から海上輸送**への転換を促す取組みを支援
- ◆「**とくしまプレミアム交通券(第4弾)**」の発行 等

公共交通利用促進事業〔R4年6月補正予算〕

410百万円

- ◆「**とくしまプレミアム交通券(第5弾)**」の発行
- ◆貸切バス「**スマート利用**」応援事業



業務終了時の車内消毒



駅前バス乗場案内の整備



県広報誌で取組み紹介

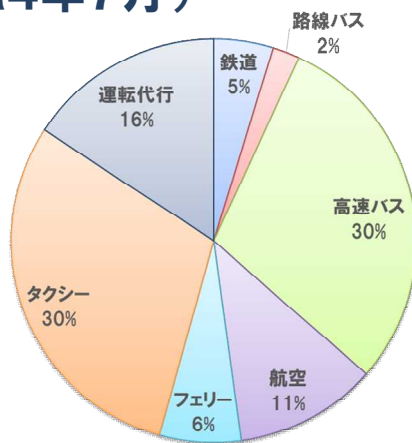
III ビジョンに基づく取組み

新型コロナ対応取組事例

徳島県

◆とくしまプレミアム交通券

- 1セット額面5,000円を2,500円で販売
- 県内で営業する航空、鉄道、フェリー、高速バス、路線バス、タクシー、自動車運転代行で利用可能
- 発行数 のべ347,000セット(約17.3億円)
 - 第1弾 46,000セット(R2年11月)
 - 第2弾 96,000セット(R3年3月)
 - 第3弾 26,000セット(R3年10月)
 - 第4弾 100,000セット(R4年3月)
 - 第5弾 100,000セット(R4年7月)

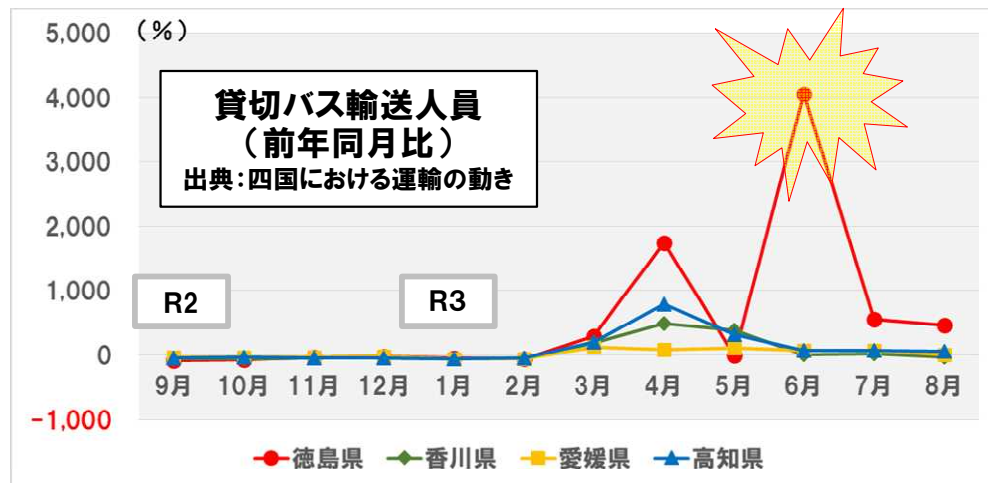
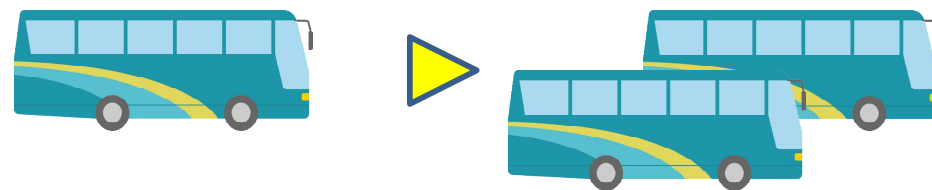


利用者の声
家族に送ってもらっていたが、公共交通を利用するようになった。

事業者の声
交通券が利用促進につながり、大変ありがたい。

◆貸切バス「スマート利用」応援事業

- 十分な座席スペースにより、「快適と安心」を売りにしたバス旅行商品の造成を支援
- バスの大型化や増車に要する経費を全額補助

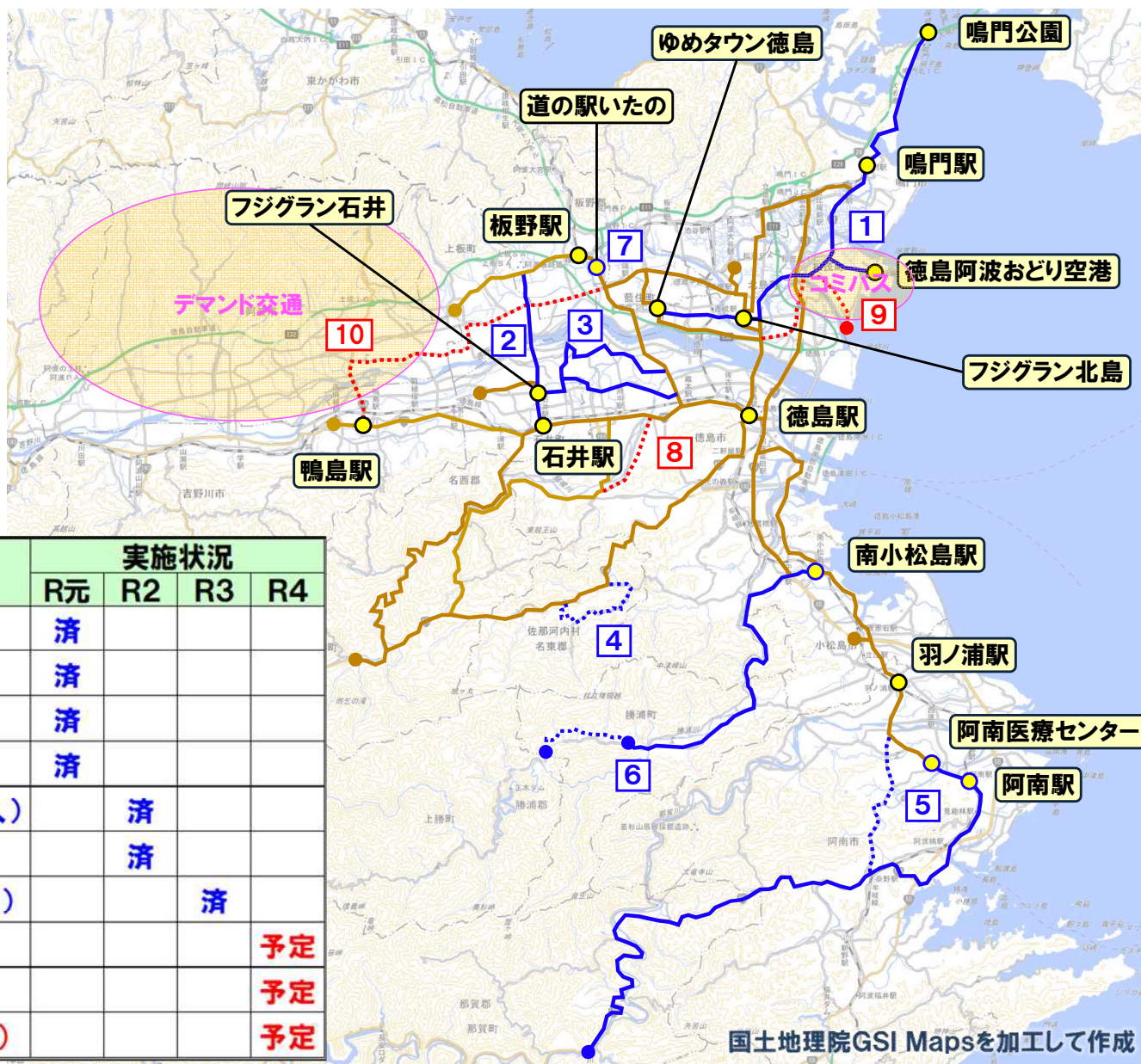


事業者の声
「業務が継続」されることで、運転技術やモチベーションの維持につながり、大変ありがたい。

III ビジョンに基づく取組み

幹線系統バスの再編

徳島バス・各市町村



No	路線	再編内容	実施状況			
			R元	R2	R3	R4
1	鳴門藍住線	新たな路線の開設	済			
2	石井上板線	新たな路線の開設	済			
3	石井環状線	バス重複路線の再編	済			
4	佐那河内線	最適化(タクシーの活用)	済			
5	丹生谷線	長大路線の再編(阿南駅に乗入)		済		
6	勝浦線	最適化(タクシーの活用)		済		
7	鍛冶屋原線	乗継ぎ拠点乗入(道の駅いたの)			済	
8	神山線(名東経由)	バス重複路線の再編				予定
9	川内松茂線	最適化(コミバスへのシフト)				予定
10	二条鴨島線	最適化(デマンド交通へのシフト)				予定

国土地理院GSI Mapsを加工して作成

III ビジョンに基づく取組み

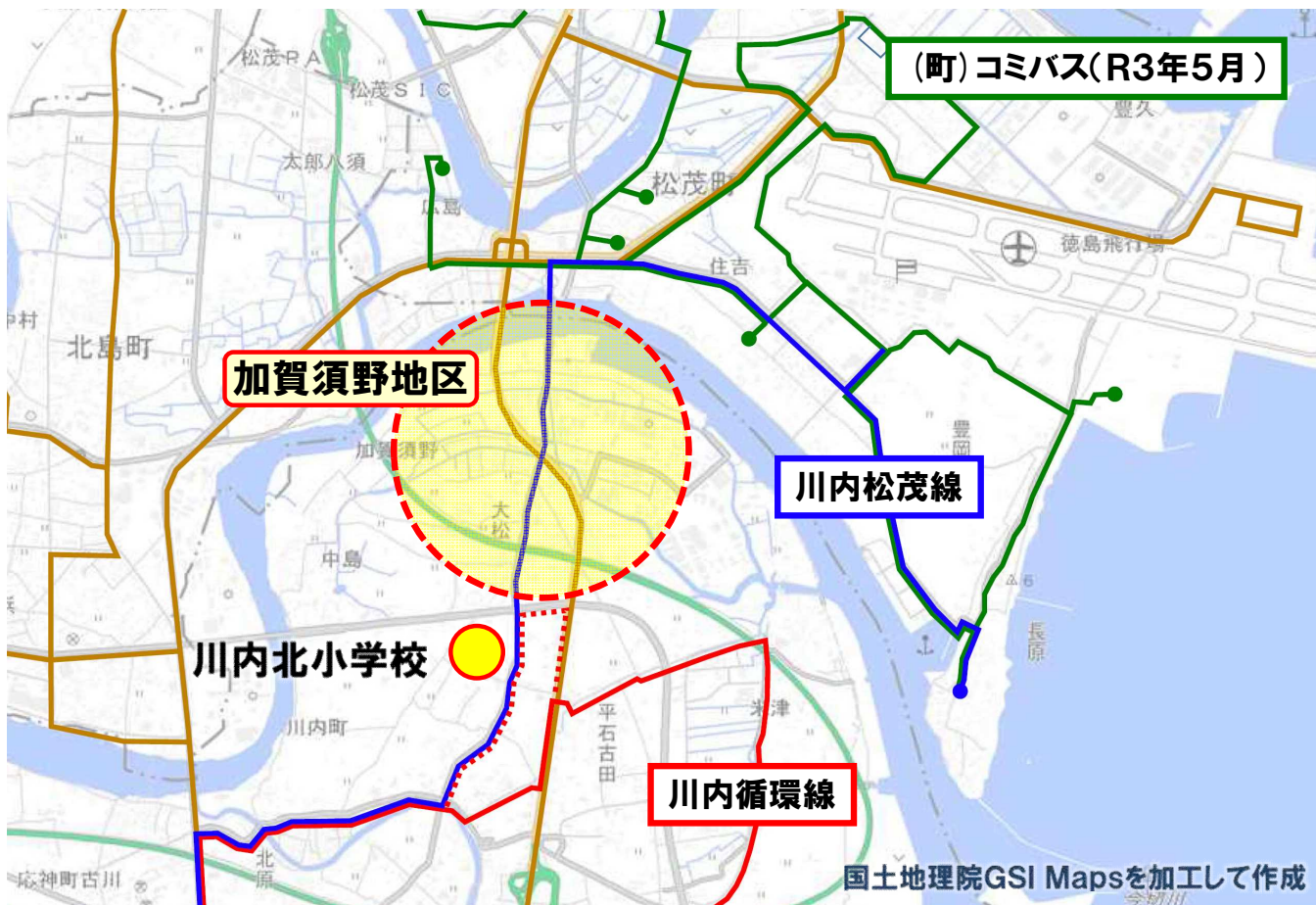
処方箋1

幹線系統バスの再編(令和4年10月予定)

徳島バス・徳島市・松茂町

「川内松茂線」の見直し

- ・利用の少ない**幹線バスを廃止**
- ・**フィーダー**によるネットワークの**最適化**



○令和元年度からWG部会で議論

○**松茂町地域コミュニティバス**

- ・令和3年5月から運行開始
- ・利用者へのヒアリングを適時実施しニーズを把握

○**川内循環線**

- ・徳島市運行(委託路線)
- ・令和4年10月から、**新たに加賀須野地区**を運行
- ・利用者(小学校)にあわせたダイヤ編成

III ビジョンに基づく取組み

処方箋1

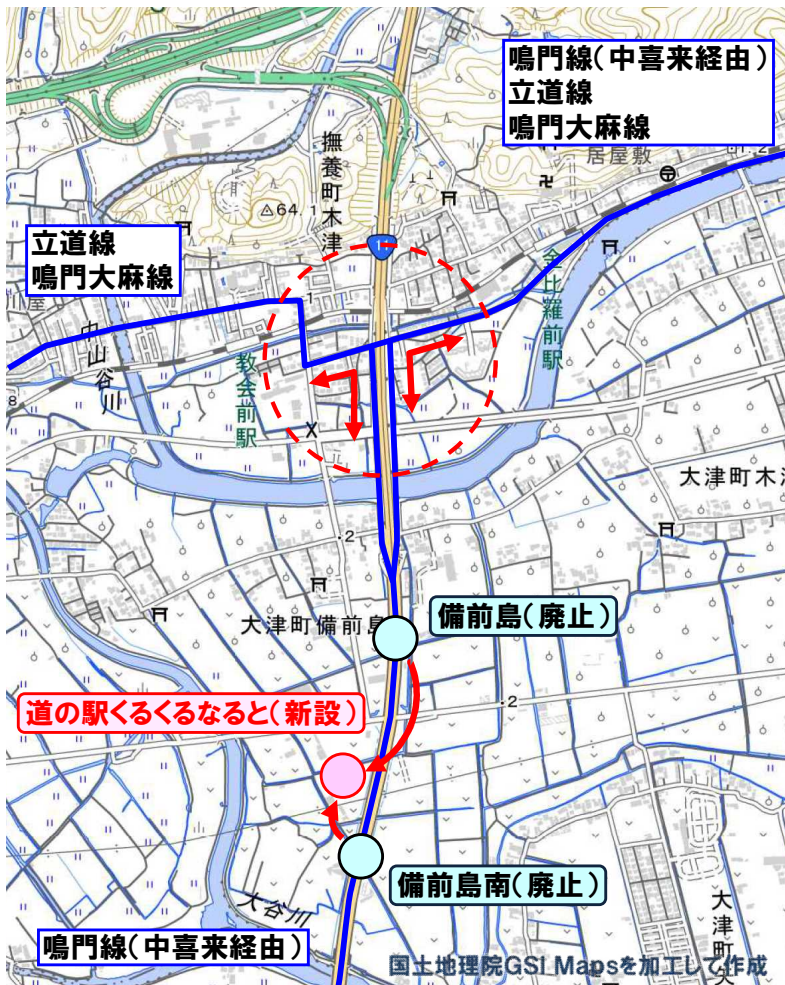
道の駅「くるくる なんと」のバス停整備

徳島バス・鳴門市

集客力のある道の駅にバス停を新設・集約
交通結節点としての利便性を高め、利用を促進

○令和4年4月29日～

- ・鳴門線(中喜来経由) 平日6便/日、土日祝 4便/日
- ・立道線 全日8便
- ・鳴門大麻線 全日8便



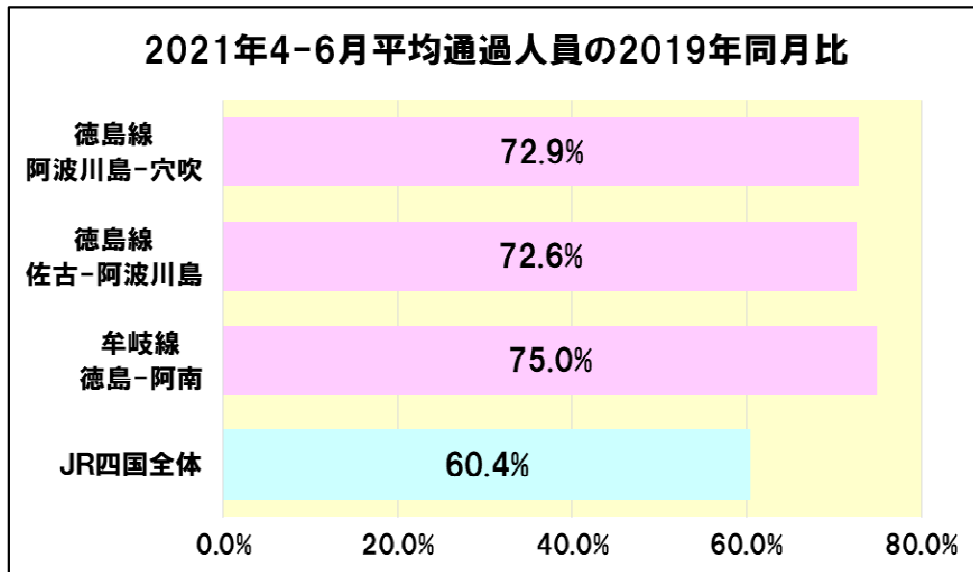
III ビジョンに基づく取組み

処方箋1

徳島都市圏のパターンダイヤ化

JR四国

徳島駅に乗り入れるJR全路線にパターンダイヤを導入



III ビジョンに基づく取組み

処方箋1

鉄道とバスの連携強化

JR四国・徳島バス

全国初！独占禁止法特例法に基づく鉄道とバスの共同経営

フェーズ1 乗継ぎ連携(H31年3月～)

JR牟岐線のパターンダイヤ導入に際し、阿南駅以南で大幅減便が生じることを受け、県が調整役となって並行している高速バスの下道区間を地域旅客運送サービスとして乗降可能とした

フェーズ1 時刻表の一体化(R2年3月～)

JRの時刻表にバスダイヤを一体化して記載

フェーズ2 実証実験(R2年10月)

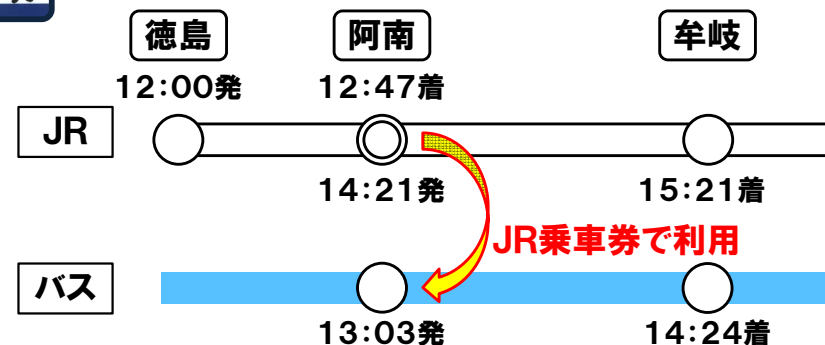
JR定期利用の学生を対象に、高速バスを無料で利用できる実証実験を実施

県補助金



フェーズ2 共同経営の開始(R4年4月～)

独占禁止法特例法に基づく共同経営の認可を取得
JRからバスへの乗り継ぎの際の初乗り運賃を解消
JRの乗車券でそのままバスに乗車が可能に



III ビジョンに基づく取組み

地域内交通ネットワークの維持充実

各地域毎に需要に応じた地域内交通を維持

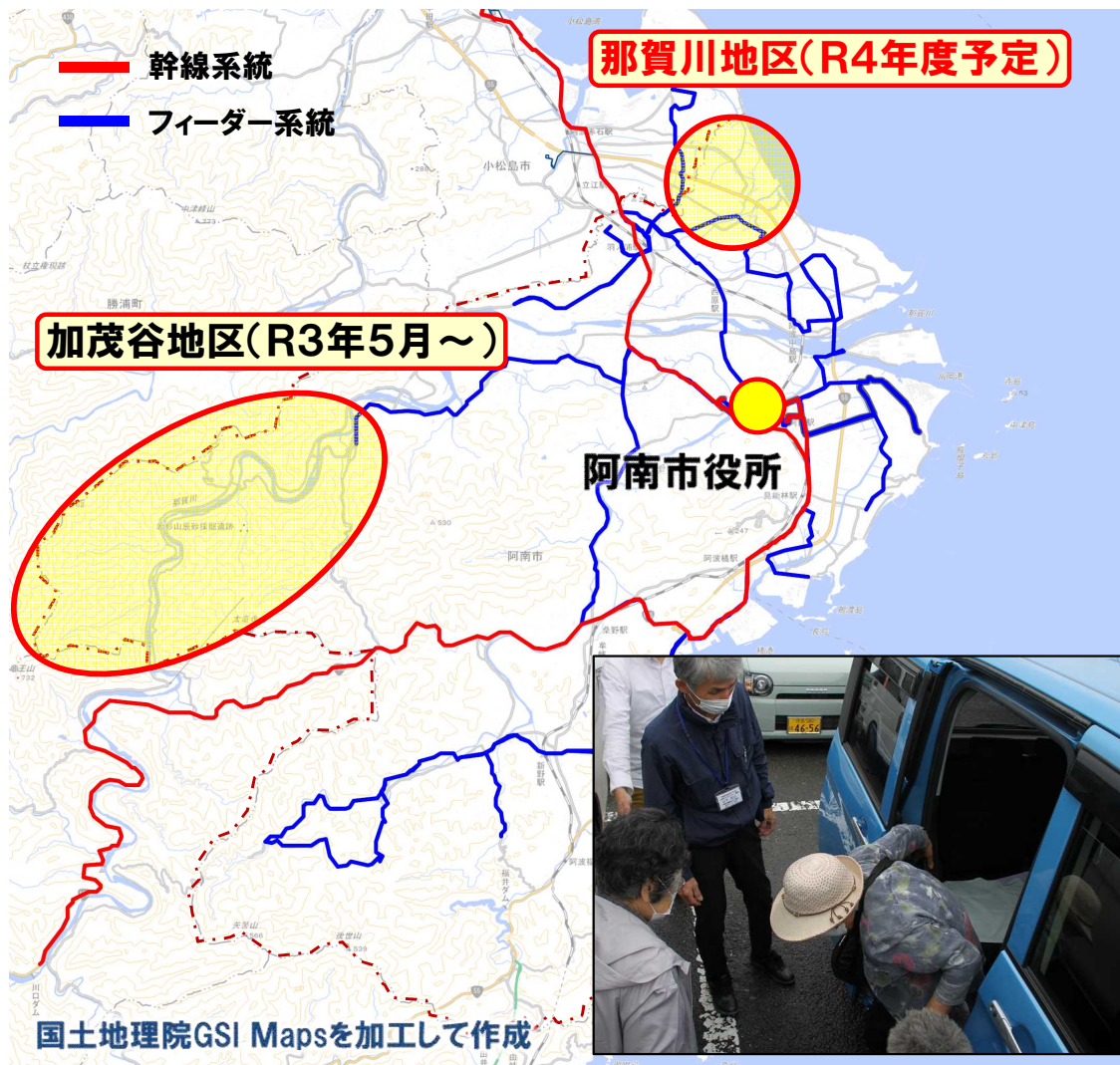


市町村	地域内交通	市町村	地域内交通	市町村	地域内交通	
徳島市	市営バス	美馬市	美馬ふれあいバス(デマンド)	牟岐町	協定路線(徳島バス南部)	
	委託路線(徳島バス)		市営バス[R4からデマンドに移行]		高齢者タクシー助成	
	応神ふれあいバス(コミバス)		自家用有償(NPOこやだいら)		スクールバス	
	上八万コミュニティバス		スクールバス	美波町	協定路線(徳島バス南部)	
	高齢者等バス助成	市営バス	病院連絡バス			
	通学タクシー	協定路線(四国交通、三野交通)	高齢者タクシー助成			
鳴門市	自家用有償(地域バス)	三好市	高齢者タクシー助成	海陽町	町営バス	
	協定路線(徳島バス)	勝浦町	買い物バス助成		協定路線(徳島バス南部)	
	高齢者等バス助成		高齢者タクシー助成		高齢者鉄道、バス、タクシー助成	
	スクールバス		路線バス廃止区間タクシー助成		スクールバス	
小松島市	協定路線(徳島バス)		上勝町	スクールバス	松茂町	町営バス[R3.5]
	高齢者等バス助成	通学支援バス助成		定額タクシー[R3.9]		
	通学バス助成	町営バス		児童クラブバス		
阿南市	運行補助(徳島バス阿南)	佐那河内村	自家用有償(ひだまり)	北島町	ぐるぐるバス	
	高齢者バス助成		バス利用者無料タクシー		福祉バス	
	通学タクシー	石井町	高齢者バス、タクシー助成	板野町	高齢者タクシー助成	
	路線バス代替タクシー(R2)		高齢者バス、タクシー助成		上板町	バス定期券助成
	ご近所ドライブパートナー[R4範囲拡大予定]		町営バス[R5からタクシー助成に移行予定]			高齢者バス、タクシー助成
吉野川市	自家用有償(代替バス)	神山町	高齢者タクシー助成[R5全町民に拡大予定]	つるぎ町	つるぎ町コミュニティバス	
	高齢者等タクシー助成[R4.7]		通学バス支援		通学タクシー	
	福祉タクシー助成(美郷地区)		スクールバス	東みよし町	町営バス	
	スクールバス		町営バス		協定路線(四国交通)	
阿波市	あわめぐり(デマンド)[R3.4本格運行]	那賀町	協定路線(徳島バス南部)	東みよし町	高齢者タクシー助成	
	障がい者(児)移動支援		自家用有償(社会福祉協議会)		高齢者移送サービス	
	スクールバス		高齢者バス助成		スクールバス	

介護保険事業を活用した新たな運行形態の導入

阿南市

阿南市ご近所ドライブパートナー事業



○介護保険事業(介護予防・日常生活支援総合事業)の「訪問型サービスD」を活用

○対象地区

・加茂谷地区

十八女町、大井町、大田井町、楠根町、深瀬町、水井町、細野町

・那賀川地区

那賀川町島尻、江野島、小延

○対象者:対象地区に住所を有する要支援認定者及び身体機能等の低下がみられる高齢者

○利用料:乗降それぞれ1回100円
車の乗降の付き添い支援の対価として

○運営主体:NPO法人等



III ビジョンに基づく取組み

処方箋2

「車両自体が観光資源！」DMV (デュアル・モード・ビークル)

世界初！DMV(デュアル・モード・ビークル)の本格営業運行

R3.12.25~

Dual Mode Vehicle
Asa Coast Railway Company

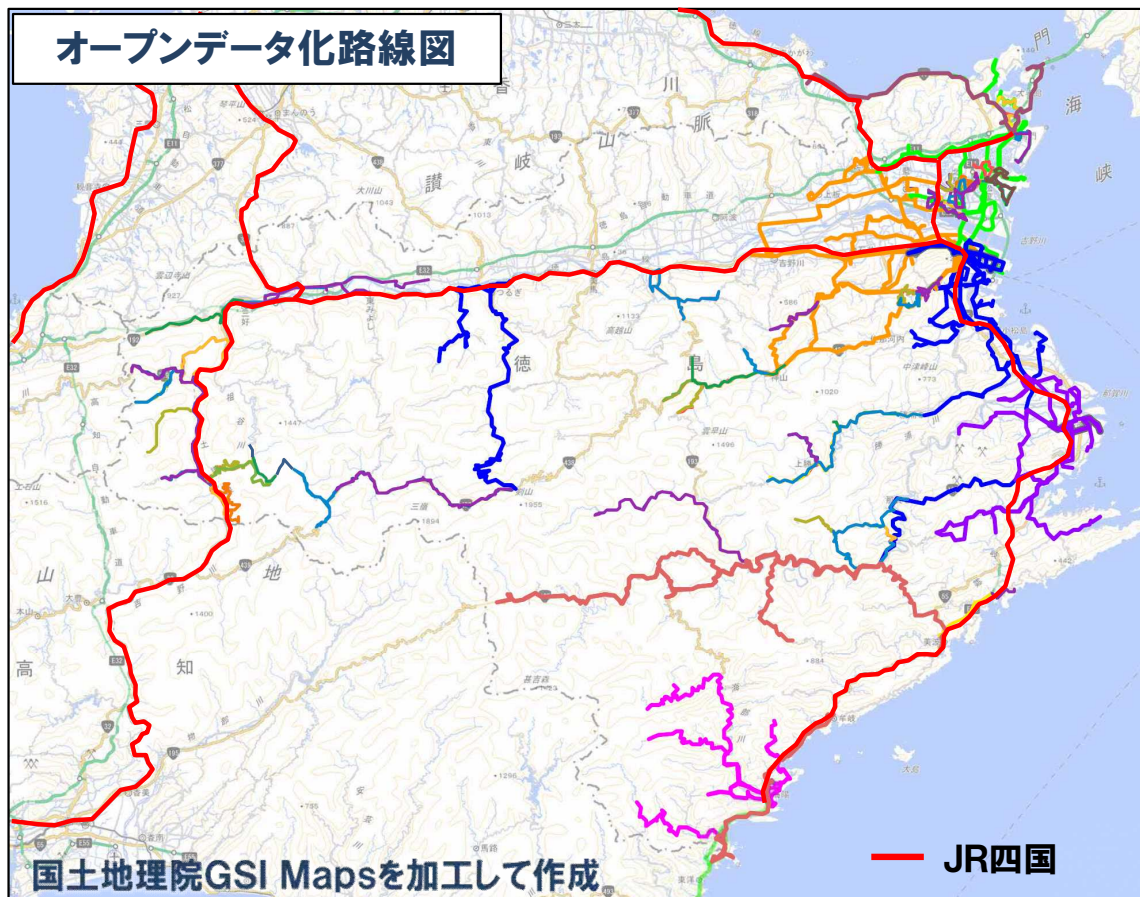


阿佐東線のみならず、JR牟岐線の活性化にも期待

県内全域でバス路線をオープンデータ化

令和4年3月、路線バス事業者、市町村が運営するコミュニティバスを含むすべてのバス情報を**オープンデータ(GTFS-JP)**化

コミバスを含む県内全域での取組みは**西日本初!**



県が調整役となり、市町村やバス事業者と連携して強力に推進

フェーズ1

県補助金

民間路線バス全線(R2年度)

フェーズ2

県補助金

市町村が運営するコミバス等(R3年度)

活用例

- ・インターネットでの経路検索(一部活用済)
- ・経路検索時に運休情報をリアルタイム表示
- ・PCモニターによる簡易サイネージ作成
- ・MaaS実装など公共交通のDX 等

新たなキャッシュレスシステムの実証

鳴門市・JR四国・徳島バス

くるくるなるとデジタル周遊チケット



○実証期間: 令和3年10月15日～令和4年1月31日

○バススマホタッチ支払い

- ・徳島バス「鳴門郵便局前」から「鳴門公園」間で実証
- ・スマホの高精度位置情報(GNSS)から乗降するバス停を特定して、運賃を自動計算する日本初のシステム
- ・交通系ICに比べ導入・維持コストが大幅に削減

○JR・徳島バス フリーパス

- ・JR徳島駅から鳴門駅間の普通列車と徳島バス、徳島市バスの全路線が2日間乗り放題のデジタルチケット
- ・大人2,000円、小人1,000円
- ・駅の改札やバス車内のプレート(NFC)にスマホをかざすと専用フォームにアクセス

○なると観光チケット

- ・事前登録された観光施設のデジタルチケット
- ・プレート(NFC)にスマホをかざすと専用フォームにアクセス

鉄道駅の利用環境整備①



JR徳島線「貞光駅」「阿波半田駅」**トイレ改修**
令和3年度完成
事業主体：**つるぎ町**



JR徳島線「府中駅」**駐輪環境の整備**
令和3年度完成
事業主体：**徳島市** **県補助金**

鉄道駅の利用環境整備②



JR徳島線「鴨島駅」**ロータリー整備**
令和3年度完成
事業主体：**吉野川市**



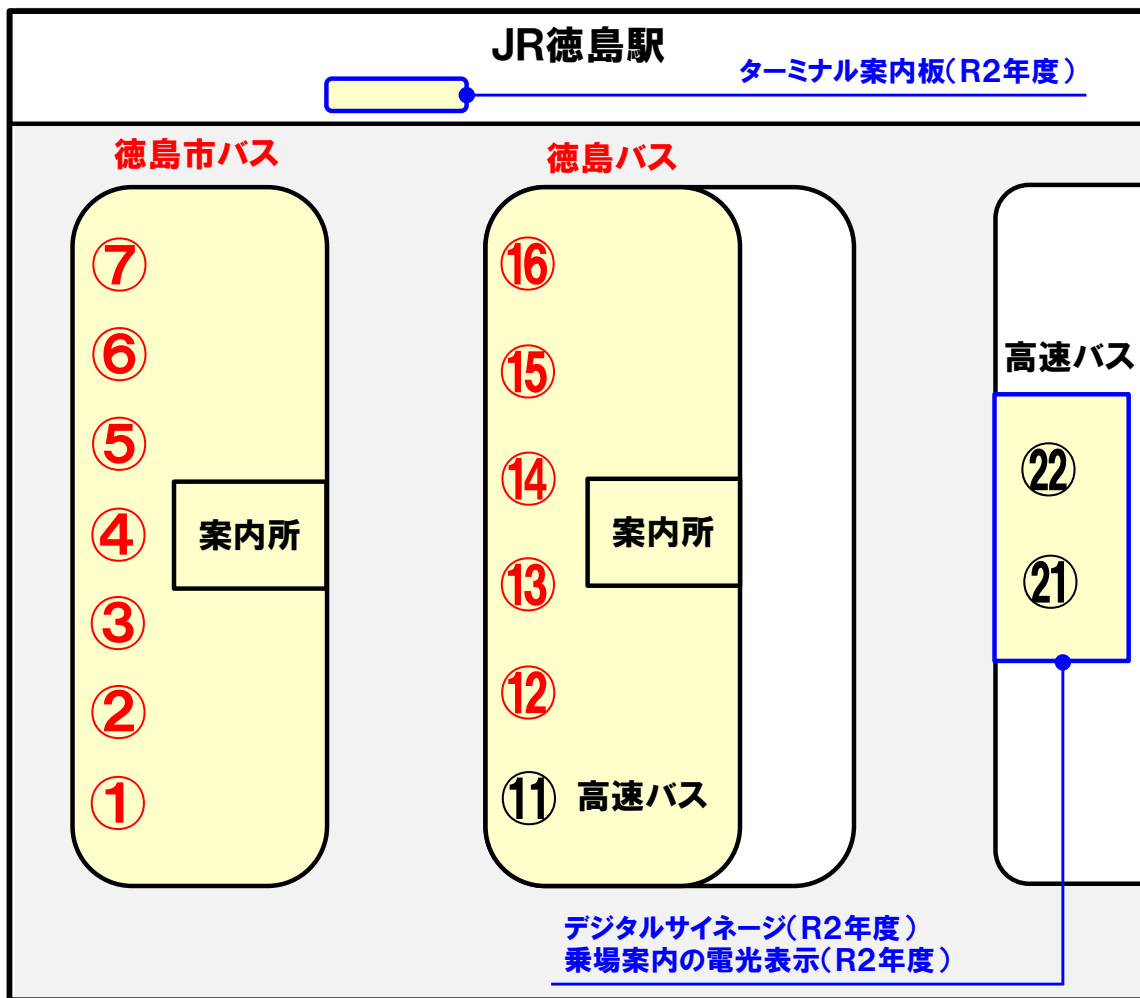
JR徳島線「阿波山川駅」**トイレの整備**
令和3年度完成
事業主体：**吉野川市**

III ビジョンに基づく取組み

徳島駅前バスターミナルの整備

徳島市・徳島バス

徳島駅前のすべての路線バス乗り場にデジタルサイネージを整備



令和4年3月運用開始
事業主体: 徳島市、徳島バス

県補助金



III ビジョンに基づく取組み

処方箋5

燃料電池バス(FCバス)の導入

徳島県・徳島バス



○運行開始: **令和3年12月1日(中四国で初)**

○運行路線: **鳴門線(4系統、全日11便)**

走る広告塔として、広く国内外に
「水素立県とくしま」をアピール

○導入車両: **トヨタ「SORA」 2台**

定員78人(座席22人、立席56人)



東亜合成水素ステーション徳島
(徳島市川内町)



R4年1月、「乗り物に乗ろうよ！公共交通
キャンペーン」での乗車体験の様子。
整理券が必要なほど大好評。
2日目は3便から5便に増便！

地域で支える意識の醸成

○小学校での乗車教室等

阿南市、藍住町ほか

○交通エコライフキャンペーン

「鉄道の日ふれあい祭り」に合わせて実施

主催：徳島地区渋滞対策推進協議会、徳島県

○夏休み子供1日フリー乗車券

夏休み期間にあわせて実施

徳島バス、徳島市バスが、1日乗り放題

小学生100円、中学生200円

主催：徳島地区渋滞対策推進協議会

○地域と協働で駅的环境美化等

小松島市、石井町ほか

○観光列車のおもてなし

三好市、つるぎ町ほか

○交通マップ等の作成

徳島市、小松島市ほか

○利用啓発イベントの実施

徳島県、交通事業者ほか



IV 地域公共交通計画の策定

徳島県内の計画策定状況

地域公共交通計画(網形成計画)策定市町村(令和3年3月末)

徳島市(令和2年3月策定)、小松島市(平成29年3月策定)
阿波市(平成30年3月策定)、美馬市(令和2年3月策定)、
つるぎ町(令和29年3月策定)

令和3年度に計画策定着手

阿南市(令和4年5月策定)、三好市(令和4年3月策定)、
つるぎ町(令和4年3月次期計画)、東みよし町(令和4年5月策定)

徳島県(幹線系統バスに特化) ※令和4年7月予定

令和4年度に計画策定着手

鳴門市、那賀町、小松島市(次期計画)、阿波市(次期計画)